

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・保護者、児童、教師のアンケート結果は、ほとんどの項目が、上期より下期の結果がよくなっていた。教師間で、具体的な取組について共通理解・共通実践できたためである。これからも、学校の取組を発信していき、保護者・地域に理解・協力してもらい、保護者・地域・学校が連携し、児童の成長に向けたよりよい開 わりを行っていく。</p> <p>・達成度Bの項目については、早急に改善策を具体化し、全職員共通理解のもと実践していくことが必要である。</p> <p>・3部会での取組については、計画から実施で終わりではなく、反省を生かした次年度への計画の見直しまで行い、次年度の計画を「見える化」していく。一つ一つの取組に対し、全職員一丸となって前向きに取り組むことのできる日新小学校を目指す。</p>
2 学校教育目標	<p>ふるさとを愛し、心まことに行動する日新の子の育成 ～「あ・そ・べ・や」でみんな輝く 日新の子～ あ…あいさつ そ…そうじ べ…べんきょう や…やさしい心 みんな輝く…一人一人のよさが輝く</p>
3 本年度の重点目標	<p>1 安心・安全な学校づくりをめざし、子ども・保護者・地域から信頼される学校をつくる。 2 学校組織力(チーム日新)を強化し、教師も一緒に教育を創るという意識のもと、指導力と人間性の向上を図る。 3 「知・徳・体」の調和のとれた、未来社会を生き抜く力(主体性・自己肯定感)を備えた子どもを育成する。</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・主体的な学習者の育成	○「進んで学習に取り組んでいる」の質問に肯定的な回答をする児童の割合が85%以上、「分からない問題があっても、粘り強く考えたり、調べたりする」の質問に肯定的な回答をする児童の割合が85%以上	・各学年の実態に合わせて、個に応じた指導・支援を行う。 ・自己選択・自己決定の場面を設定し、主体的な学習を促す。	・	・	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に優しく親切にしている」と答えた児童80%以上	・児童の実態に合わせて学年、全校さわやかタイムを計画・実施する。	・	・	・	・	・	・	・人権・同和教育担当者 ・藤の花部 ・道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)未対応0について組織的対応ができていないと回答した教員90%以上	・いじめの認知・覚知に対する情報共有を行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。	・	・	・	・	・	・	・生徒指導主任 ・教育相談主任 ・藤の花部
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童80%以上 ◎ふるさと「日新」に愛着をもち、大切にしたいと肯定的な回答をした児童80%以上	・「ほかほかカード」等、児童を積極的に褒めたり認めたりする活動を実施する。 ・学級活動や行事等で出番や役割を与え、称賛する。 ・社会科、生活科、総合的な学習の時間等に体験的授業を取り入れたり、日新の町に関わる機会を作ったりする。	・	・	・	・	・	・	・教務主任 ・各教科主任 ・藤の花部
●健康・体づくり	○安心感や信頼感を育む人間関係(仲間)づくり	○ほかほかカードを活用しながら、「お互いによいところがあると思う」と回答した児童80%以上	・道徳、学活等の時間を活用して、友達のよさを認めるカードを書いて、掲示する。	・	・	・	・	・	・	・人権・同和教育担当者 ・藤の花部
	●望ましい生活習慣の形成	●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上 ○朝食をとって登校する児童が90%以上	・「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する。年間2回、チェック週間を設け、日々の生活習慣の振り返りをする。 ・食育タイムで、望ましい食習慣やマナーについて確認する。	・	・	・	・	・	・	・体育主任(保健主事) ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・少年の像部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○運動習慣の改善や定着化	○「外で遊ぶ日は進んで外遊びをした」と答えた児童が70%以上	・大縄大会などのスポーツイベントを実施する。 ・昼休みの外遊びを推奨する。	・	・	・	・	・	・	・体育主任(保健主事) ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・少年の像部
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・一か月の時間外勤務時間を前年度と比べながら報告し、時間外勤務時間の削減の意識付けを図る。 ・業務改善委員会を年3回実施する。	・	・	・	・	・	・	・教頭
●特別支援教育の充実	○学びやすい、働きやすい職場づくり	○学びやすい、働きやすい職場だと思っている職員が85%以上	・業務内容の見直し・職場環境の改善等を行う。	・	・	・	・	・	・	・教頭
	○一人一人の児童を大切に指導・支援の充実	○学級の実態に応じて、UD化を意識した授業や教室環境に努めたと回答する教員が90%以上 ○支援を必要とする児童に効果的な支援を行ったと回答した教員が90%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・全職員での情報共有を行う。	・	・	・	・	・	・	・藤の花 ・特別支援Co

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○地域連携	○地域の学校支援体制づくり	○「保護者や地域の方が、応援してくれていると思う」児童80%以上	・地域学校協働活動推進員を中心とした学校支援体制づくり(応援ボランティアの募集・実施)を行う。 ・保護者や地域の方の学校行事・授業等への参加・支援体制づくりを行う。	・	・	
○幼保こ小中連携	○幼稚園や保育園、こども園、中学校と連携し、成長を見据えた教育活動	○「情報を共有し、児童の成長を見据えた教育を行った」教員90%以上	・幼稚園や保育園、こども園と連携(年3回の会議と、1回以上の園への見学)を行う。 ・教師間の情報共有(職員研修2回)を行	・	・	・	・	・	・	・教頭 ・教務主任 ・担任

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育</p>
--------------------	----------------------------------